

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

同一眼内レンズの手動および自動での挿入と創口幅による創口ダメージの比較検討

IOL 挿入時の創口侵襲の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院にて白内障手術で Alcon 社製のハンドピース（自動）またはカートリッジ（手動）を使用して眼内レンズ（Alcon:SY60WF）を挿入した患者。

研究対象期間

2021年11月1日から2022年4月30日

2. 研究目的・方法

研究目的

白内障における水晶体再建術は手術機器や医療機器の進化により、手術効率と視力矯正精度が向上し、日本国内では年間100万眼以上がおこなわれています。本研究では、当院にて白内障手術で Alcon 社製のハンドピース（自動）あるいはカートリッジ（手動）を使用して眼内レンズ（Alcon:SY60WF）を挿入した症例を対象として、自動による眼内レンズ挿入術と手動による眼内レンズ挿入術の切開創の影響を比較検証することにより安全な白内障手術を目指すことを目的としています。

研究方法

2021年11月1日から2022年4月30日までに当院にて白内障手術で Alcon 社製のハンドピース（自動）またはカートリッジ（手動）を使用して眼内レンズ（Alcon:SY60WF）を挿入した症例を対象とし、自動による眼内レンズ挿入術と手動による眼内レンズ挿入術の切開創の影響を比較検証します。調査項目は、挿入前後の創口拡大率等、角膜内皮細胞減少率、前眼部光干渉断層計(CASIA)での切開創のデスメ膜剥離・隆起・角膜内皮細胞裂隙の有無とします。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、実施医療機関の長の研究実施許可を得てから2023年5月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

評価項目：挿入前後の創口拡大幅等、角膜内皮細胞減少率、
前眼部光干渉断層計 (CASIA) での切開創のデスメ膜剝離・隆起・角膜内皮細胞裂隙の有無

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 氏名：西村 栄一

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1 電話番号：045-974-2221

研究責任者：飯田 英里